

新庁舎建設特別委員会の概要（第6回）

- 1 日 時 平成31年4月16日（火） 13時30分～15時12分
- 2 場 所 第1議会委員会室
- 3 出 席 全委員
- 4 内 容 1 新庁舎の整備について
2 その他

配布資料

① 美濃太田駅周辺整備イメージ図

- 初めに、美濃太田駅周辺整備基本構想の策定は都市整備課が担当し、新庁舎整備基本計画の策定は企画課が担当していく旨の説明があった。
- また、美濃太田駅周辺の整備について、東エリア（官民連携事業）と西エリア（民間事業）の説明があった。

【委員会で出た主な意見】

- シティホテルは東エリアに含まれるのか。
→ シティホテルは東エリアに含めて考えているが、シティホテルのあり方について意見があれば頂戴したい。
- 新庁舎整備と西エリアの関係はどうなっているのか。
→ 西エリアは民間事業エリアであり、再開発事業に同意された方について行う。新庁舎の機能を位置づけることも考えられるため、リースなど西エリアとの連携は考えていく。
- リースすることによるメリットの見込みはあるのか。
→ LCC（ライフサイクルコスト）の考え方をもとに、所有することよりリースが安ければ借りる方向である。なお、全てをリースすることは考えていない。所有することが必要なもの（防災、議会機能など）とリースできるものを分けて考えていく。
- 新庁舎は分散型で考えているのか。
→ 現在、分散型で考えている。
- 市が民間再開発事業の保留床を購入することは考えているか。
→ 考えていない。
- 東エリア、西エリアともに足並みをそろえて進めることが大切である。
→ 東エリアと西エリアは別の事業と考えており、スケジュールは若干ずれること

も考えられるが、バランスよく進めていきたい。

- 美濃太田駅前市街地再開発事業について、平成31年度内でどこまで進めるのか。
- 区域・権利者を確定し、再開発準備組合を設立したい。
- 今後シティホテルをどうしていくのか。
- この5年間でどうしていくのか、ということを検討していきたい。

【まとめ】

- 次回は、新庁舎の機能、規模、配置を踏まえた上で、財政面等の議論をすることを確認し委員会を閉会した。